

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	1. 青少年の体験活動の充実	子ども会 ジュニア リーダー の養成	スポーツ・ 生涯学習 課	集団行動の楽しさを体験し、単 位子ども会での率先的活動者とな るために必要な知識や技術を習得 させる。	【研修会】 初級リーダー研修会 2回 (5月…小学生21名、ジュニアリーダー2名、青年リーダー2名) (3月…小学生17名、ジュニアリーダー5名、青年リーダー2名) 中級リーダー研修会 1回 (12月…中学生6名、ジュニアリーダー3名、青年リーダー2名) 【内容】 ゲーム・レクリエーションの指導、創作活動、 スポーツ活動、子ども会に関する講話、テント設営練習、危 機回避演習等	0	<令和3年度の課題> ○: 成果、●: 課題 ●なし <令和4年度の成果> ○初級リーダー研修会は、ジュニアリーダー(中学生)が 企画・運営して、ゲームレクや創作活動等の指導をしてい る。小学生のレベルに合った内容であるほか、率先的行動 者として「憧れる先輩像」を示せる貴重な機会として、充 実した研修会となった。 ○令和3年度の中級リーダー研修会を受講した者の中から 新たに中学生リーダーが誕生していたが、令和4年度の研 修会で、実際に企画・運営側として活動させることができ た。	A	継続
		アドベン チャー キャンプ	スポーツ・ 生涯学習 課	自然体験や創作活動等の体験活 動を通して、豊かな心を育むとと もに、様々な年齢の仲間と交流を 深めることで、自主性や協調性を 養い、各地域においてリーダー シップを発揮し、活動を率先して 行うことのできる人材を育成す る。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※主催する市子ども会育成連合会からの申し出により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	
		花巻市友 好都市交 流事業 (友好都 市)	スポー ツ・ 生涯学習 課	新渡戸友好都市提携(平成元 年)を契機に両市の理解と友好を 深める一助として小学生の交流を 実施し、もって時代を担う青少年 の育成を図る。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※受入主体である花巻市からの申し出により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	
		日本三大 開拓地小 学生交流	スポー ツ・ 生涯学習 課	三市町の小学生の交流を通し て、次代を担う青少年の育成を目 的とする。また、郷土の開拓の歴 史などを学び郷土理解を深める契 機とする。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※受入当番自治体である矢吹町からの申し出により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	
		土佐町親 善交流事 業(姉妹 都市)	スポー ツ・ 生涯学習 課	姉妹都市(昭和60年締結)の土 佐町とホームステイによる相互交 流を通じて郷土理解を深めるとと もに、両市町の友好・絆を一層深 める。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※土佐町との協議により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性		
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	1. 青少年の体験活動の充実	寺子屋稲生塾	スポーツ・生涯学習課	先人の開拓精神や故郷の良さを考えることにより、子どもたちの郷土愛くむとともに、将来の十和田市を支える人づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 開講式、稲生川と三本木原開拓の歴史(15人参加)</li> <li>第2回 馬の産地十和田市の歴史、流鏝馬体験(20人参加)</li> <li>第3回 伝統工芸「南部裂織」の話、南部裂織体験(19人参加)</li> <li>第4回 十和田湖の歴史学習や自然散策、十和田湖ひめます孵化場見学(16人参加)</li> <li>第5回 十和田市で活躍する方の話、閉講式(16人参加)</li> </ul>	553,201	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○: 成果、●: 課題 ●なし</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○5回の講座の参加者は、延べ86人であった。講座ごとに参加者へのアンケートを実施し、「とても良かった」「良かった」と回答した割合は100%であった。 ○従来の郷土の歴史学習に加え、新たな講座として最終回には、十和田市で活躍する出身者や移住者の話を聞き、未来の十和田市や将来の夢について考えるプログラムを追加</p>	A	継続	
		2. 地域が支えるキャリア教育の充実	北里大学夏休み体験学習	スポーツ・生涯学習課	夏休みを利用して北里大学獣医学部に体験入学し、生物や自然との関わりについて学ぶとともに、環境の大切さについて理解を深める。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※北里大学獣医学部の決定により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	
			ファミリー電波教室	スポーツ・生涯学習課	身の回りで利用されている電波について、その性質などを映像・実験を通して学ぶ。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ※主催する青森県電波適正利用推進員協議会の決定により中止	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続	
		3. 子どもの読書活動の充実	「家庭読書の日」の普及	市民図書館	市民図書館	毎月第4日曜日を「十和田市家庭読書の日」と定め、家庭において、親子が一緒に読書を楽しむことで子どもの読書への興味と関心を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭読書の日」にすすめる図書の展示コーナー設置と貸出し。</li> <li>他団体との連携による「絵本の読み聞かせ」等の開催。</li> <li>図書館のホームページや「広報とわだ」による「家庭読書の日」のPR。</li> </ul>	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○: 成果、●: 課題 ●「家庭読書の日」のPR及び「家読本」の紹介について、引き続きPRしていく。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○「家庭読書の日」にすすめる「家読本」は、3カ月ごとに更新して展示している。 ●「家庭読書の日」のPR及び「家読本」の紹介について、引き続きPRしていく。</p>	A	継続
						<p>&lt;委員からの意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館のHPや広報以外でのPRはないか。</li> </ul> <p>【市民図書館回答】図書館内の設置コーナーに今回のおすすめ本という菜を作成しているほか、学校に家庭読書の日のお知らせは出しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数か月に1回でもいいので、保育園・幼稚園にお知らせするとか、学校に出向いて図書委員会の活動時間にPRするとかもいいと思う。</li> </ul>					
				子ども司書養成講座	市民図書館	図書館や司書の仕事を知り、友達や家族に読書の楽しさや素晴らしさを伝える「子ども司書」を養成する。	図書館内の見学、図書の貸出・返却処理、図書の検索等の司書の知識や技術を学ぶ体験を通して、本と人との橋渡しを手助けする読書活動推進の担い手として、子ども司書を養成する。	13,977	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○: 成果、●: 課題 ●読書の素晴らしさを伝え、読書活動推進の担い手を育成するため、多くの児童に参加してもらえよう、講座の日程・回数等を検討する必要がある。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○読み聞かせや調べものに重点をおいた講座内容としたことで、参加児童が主体的に協力し合って活動し、図書館の役割や司書の仕事への理解を深めることができた。 ●読書の素晴らしさを伝え、本と人をつなぐ読書活動推進の担い手である子ども司書を養成するため、時期や内容を検討し、ボランティアの協力も得ながら事業の充実を図っていく。</p>	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	3. 子どもの読書活動の充実	子どもビブリオバトル	市民図書館	<p>発表者と参観者のコミュニケーションや知識共有の場となり、本のおもしろさや魅力を知り、読書のきっかけをつくることで、図書館利用の推進を図る。</p> <p>発表者が紹介した本について、参加者が質問を行った後、「どの本が一番読みたくなったか？」全員が投票して、チャンプ本を決定する。</p> <p>・事前学習会 8月2日 参加者 4人 内容 演習などにより、ビブリオについての基本的な知識を身につける。 ・ビブリオバトル 8月17日 発表者5人</p>	15,184	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●発表に対しての質問が少なく、活発なディスカッションには至らなかった。発表者と参観者のコミュニケーションも当事業の重要な目的となるため、対策についても検討したい。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○事前学習会を実施したことで、発表のコツを掴み、上手く時間を使って発表している子どもが多く見受けられた。また、発表者・参加者とも積極的に質問し、活発なディスカッションとなった。</p> <p>●参加者が減少したため、新規の参加者を増やすよう、効果的な広報・周知を検討したい。</p>	A	継続																	
		おはなし会等の開催	市民図書館	<p>絵本や紙芝居、昔話などのおはなし会開催により、読書の楽しさと素晴らしさを感じてもらい、図書館への親しみと関心を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>月日</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">移動おはなし会</td> <td>8月3日</td> <td>友愛保育園</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>8月8日</td> <td>第三友愛保育園</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>8月23日</td> <td>第二友愛保育園</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>夏・冬休みおはなし会</td> <td>8月・1月</td> <td>市民図書館</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	月日	場所	参加人数	移動おはなし会	8月3日	友愛保育園	31人	8月8日	第三友愛保育園	43人	8月23日	第二友愛保育園	47人	夏・冬休みおはなし会	8月・1月	市民図書館	82人	20,000	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●引き続き、読み聞かせボランティアの協力を得て、より一層魅力ある内容になるよう、事業の充実を図っていく必要がある。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○子供たちがおはなしの世界を楽しみ、本や図書館に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>●読み聞かせボランティアと日程や内容を検討し、多くの方に参加していただけるよう開催の周知にも努めていく。</p>	A	継続
		事業名	月日	場所	参加人数																					
移動おはなし会	8月3日	友愛保育園	31人																							
	8月8日	第三友愛保育園	43人																							
	8月23日	第二友愛保育園	47人																							
夏・冬休みおはなし会	8月・1月	市民図書館	82人																							
図書のセット貸出	市民図書館	<p>図書の貸出を希望する幼稚園、保育園、小・中学校及び老健施設等に定期的に図書のセット貸出を行うことにより、読書活動の充実を図る。</p> <p>・セット貸出（公用車による配本） 32か所 （幼稚園、保育園、仲よし会等） ・セット貸出（利用団体来館） 17か所 （小学校5か所、老健施設等6か所、仲よし会5か所、保健センター）</p>	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●小・中学校の利用学校数は増減なしだが、読書活動の充実のため、引き続き事業の周知に努めていく必要がある。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○利用団体数は1か所減少したが、利用回数を増やした団体があり、貸出冊数は増加した。</p> <p>●読書活動の充実のため、引き続き事業の周知に努めていく必要がある。</p>	A	継続																				

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																					
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	4. 地域全体で子どもを育む活動の充実	放課後子ども教室推進事業	スポーツ・生涯学習課	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強や文化活動、地域住民との交流等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	1. 放課後子どもプラン運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 1回(3月)</li> <li>・運営委員 9名</li> <li>・内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>①放課後子ども教室推進事業について</li> <li>②放課後児童健全育成事業(仲よし会)について</li> </ul> </li> </ul> 2. 各放課後子ども教室実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>教室名</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>三本木放課後子ども教室</td> <td>38</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>北園放課後子ども教室</td> <td>44</td> <td>1,005</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>東放課後子ども教室</td> <td>52</td> <td>1,031</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>鹿沼放課後子ども教室</td> <td>26</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>松島放課後子ども教室</td> <td>8</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ちとせ放課後子ども教室</td> <td>52</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>東コミュニティセンター子ども教室</td> <td>20</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>230</td> <td>2,726</td> </tr> </tbody> </table> 3. 主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動(宿題、読書、漢字カードなど)</li> <li>・工作活動(紙コップ、プラ板、アイロンビーズ、押し花など)</li> <li>・昔遊び体験(ブンブンごま、けん玉、百人一首など)</li> <li>・軽スポーツ(風船バレー、スポーツ吹き矢など)</li> <li>・文化活動(茶道)</li> </ul>	No	教室名	実施回数	延べ参加人数	1	三本木放課後子ども教室	38	280	2	北園放課後子ども教室	44	1,005	3	東放課後子ども教室	52	1,031	4	鹿沼放課後子ども教室	26	668	5	松島放課後子ども教室	8	81	6	ちとせ放課後子ども教室	52	325	7	東コミュニティセンター子ども教室	20	74	計		230	2,726	2,298,245	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●学習活動が主体の子ども教室もあるので、なるべく多様な体験機会の提供に努めたい。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ対策などの制約がある中ではあったが、各教室で学びや遊びなど各種の体験活動を行うことができた。また、異学年交流や、(学校以外の)地域の大人が関わる放課後の「居場所」として機能することができた。 ○放課後子ども総合プランの中で推進されている放課後児童クラブ(仲よし会)と放課後子ども教室の一体的な実施については、松陽小学校仲よし会の中で一体型プログラムを実施した。 ○多様な体験機会の提供のため、令和5年度に向け「遊びの日」の実施方法について検討した。	A	継続
		No	教室名	実施回数	延べ参加人数																																									
1	三本木放課後子ども教室	38	280																																											
2	北園放課後子ども教室	44	1,005																																											
3	東放課後子ども教室	52	1,031																																											
4	鹿沼放課後子ども教室	26	668																																											
5	松島放課後子ども教室	8	81																																											
6	ちとせ放課後子ども教室	52	325																																											
7	東コミュニティセンター子ども教室	20	74																																											
計		230	2,726																																											
5. 家庭教育支援の充実	家庭教育応援事業	スポーツ・生涯学習課	家庭教育の重要性や大人と子どもに関わりについて理解を深めることにより家庭における教育力の向上を図るため、学校や各種団体との連携・協力のもと、講話やワークショップを通じ、子どもの育ちだけでなく親育ちのためにもともに学び合うための学習機会を提供する。	※別紙資料 P36	205,622	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●リアルとオンラインが混在した回で満足度が乖離したため、開催方法の精査を要する。 <令和4年度の成果と課題> ○参加者の理解度は96.0%、満足度は99.4%となり、実施校と連携をしながらテーマや講師を選定しているため、ニーズに即した講演を実施することができたと考えられる。 ●保護者の参加が任意の場合は参加割合が低いため、参観日等の機会の活用を促したい。	A	継続																																						

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	生涯を通じた学びと社会参加の推進	6. ライフステージに応じた学習機会の充実	とわだ子ども議会	スポーツ・生涯学習課	議会を模擬体験することにより、子どもたちに議会や行政の仕組みを知ってもらうとともに、質問を通して自分たちの住んでいる十和田市について考えることにより、郷土を愛する心情をはぐくむ。	事前に勉強会やリハーサルを行い、子ども議会を開催した。 勉強会では、総合計画の内容も盛り込み、市の施策の方向性や事業について学ぶ機会とした。 6月18日 勉強会開催 ①十和田市の重点的な取り組みについて ②市議会について ③質問書の書き方について ④抽選会(質問者、議事進行役決定) 6月30日 質問書提出締切 7月25日 子ども議会リハーサル 7月26日 子ども議会開催	12,229	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●抽選会で子ども議員にならなかった児童にも傍聴者として参加する機会を提供したが、当日欠席する児童が多かった。 <令和4年度の成果と課題> ○議事進行役を増やし、応募した児童全員を子ども議員として参加させることができた。 ●提出された質問書を精査(修正)する仕組みがなかった。	A	継続
		少年少女発明クラブ	スポーツ・生涯学習課	創作活動を通して、子ども達に豊かな発想力と着想を具体化するたくましい構想力を育て、アイディアを生かした創造の喜びを体得させ、夢や希望にあふれた心豊かな人格の形成を図る。	○ドリーム班(小学校3・4年生)・・・全28回 かんたん万華鏡、電動プロペラカー、ロボット工作、ドリームロボコン、クラブロボコンのための製作、県出前授業 ○エジソン班(小学校5年生～中学校3年生)・・・全29回 電動工作(簡単ボタン制御ロボ)、県弁理士派遣事業、ロボット製作、クラブロボコンのための製作、フラップ10、簡単ボタン制御ロボプログラミング	3,782,997	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●県ロボコンの2年連続中止やクラブロボコンの中止など、成果発表の機会が減少した。 (代替として閉講式で製作したロボットのミニ競技会を行った。) <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍中であつたが、活動はほぼ中止することなく実施することができた。(ただし開講式や親子製作、夕涼み会、夏休み体験教室など保護者や一般市民が参加する行事は中止もしくは人数制限をしての実施となつた。) ○指導員の欠席等については、事前に交代要員として打診して対応することができた。	A	継続	
		とわだ市民カレッジ	スポーツ・生涯学習課	関係機関と連携し、充実した内容の講座を提供することで、心豊かで潤いのある生活とまちづくりを一層推進していく生涯学習機会の場として開講する	※別紙資料 P37	2,879,296	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●利用者からの多様な要望に応えると共に、定住自立圏の中心市にふさわしい蔵書構成を目指していく必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○若年層の受講が少ないという前年度の課題に対応するため、1講座の講師に「りんごちゃん」を選定し、小中高高校生に対してはチラシを配布し先行予約を受けたことにより、若年層や親子での受講があつた。休日ではあつたが引率して多くの生徒を参加させる高校もあつた。 ○全体として満足度は90%を超え、大変質の高い講座を提供することができた。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計 (円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																				
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	生涯を通じた学びと社会参加の推進	6. ライフステージに応じた学習機会の充実	市民図書館	市民の教養を深めること及び調査研究等に資することを目的に、図書資料を収集・保存し、市民に提供する。	※別添資料 P38	13,389,594	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●利用者からの多様な要望に応えると共に、定住自立圏の中心市にふさわしい蔵書構成を目指していく必要がある。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○選書方針に従い、計画的に図書資料の収集を行うことができた。 ●利用者からの多様な要望に応えると共に、定住自立圏の中心市にふさわしい蔵書構成を目指していく必要がある。</p>	A	継続																																																				
		本のリサイクルフェア	市民図書館	家庭で読み終わって不要になった本を収集し、市民や近隣市町村住民が再利用することにより、図書資源の有効活用と読書活動の充実を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">収集冊数 (冊)</th> <th rowspan="2">持ち帰り冊数</th> <th colspan="3">来場者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>一般</th> <th>児童</th> <th>雑誌</th> <th>合計</th> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>2,368</td> <td>158</td> <td>939</td> <td>3,465</td> <td>3,335</td> <td>232</td> <td>25</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,718</td> <td>884</td> <td>883</td> <td>5,575</td> <td>5,312</td> <td>248</td> <td>27</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>前年増比</td> <td>▲1,350</td> <td>▲826</td> <td>76</td> <td>▲2,110</td> <td>▲1,977</td> <td>▲17</td> <td>▲2</td> <td>▲19</td> </tr> <tr> <td>増減率(%)</td> <td>▲36.3</td> <td>▲84.1</td> <td>8.8</td> <td>▲37.8</td> <td>▲37.2</td> <td>▲6.8</td> <td>▲7.4</td> <td>▲6.9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	収集冊数 (冊)				持ち帰り冊数	来場者数 (人)			一般	児童	雑誌	合計	市内	市外	合計	R4	2,368	158	939	3,465	3,335	232	25	257	R3	3,718	884	883	5,575	5,312	248	27	276	前年増比	▲1,350	▲826	76	▲2,110	▲1,977	▲17	▲2	▲19	増減率(%)	▲36.3	▲84.1	8.8	▲37.8	▲37.2	▲6.8	▲7.4	▲6.9	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●コロナ禍の中、前日に整理券を配布した際に少し混雑したため、来年度もコロナ禍であるなら、配布方法を検討したい。</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○コロナ禍の中、感染症対策を徹底し、事業を中止・縮小することなく、不要な図書を再利用し、図書資源の有効活用と読書活動の充実につなげることができた。 ●コロナ禍の中、当日に入場番号札を配布したが、開始30分で混雑したため、来年度もコロナ禍であるなら、開始時間、入場方法等を検討したい。</p>	A	継続
		区分	収集冊数 (冊)				持ち帰り冊数	来場者数 (人)																																																					
一般	児童		雑誌	合計	市内	市外		合計																																																					
R4	2,368	158	939	3,465	3,335	232	25	257																																																					
R3	3,718	884	883	5,575	5,312	248	27	276																																																					
前年増比	▲1,350	▲826	76	▲2,110	▲1,977	▲17	▲2	▲19																																																					
増減率(%)	▲36.3	▲84.1	8.8	▲37.8	▲37.2	▲6.8	▲7.4	▲6.9																																																					
シニア大学	スポーツ・生涯学習課	高齢社会に対応し、高齢者が学習活動を通じて社会的能力を高め心豊かな生きがいのある人生の創造を目指すとともに、その学習の成果を社会参加活動につながるよう支援する。	※別紙資料 P39	544,867	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●閉講式が中止となり、クラブ活動の発表の場がなくなった。(令和4年度の開講式で実施)</p> <p>&lt;令和4年度の成果と課題&gt; ○高齢者の課題に即した講座やレクリエーションを提供することができた。 ○講座を受けた満足度にとどまらず、「学んだ成果を自分の生活に生かせる」との回答も全体で81.1%と高評価であった。 ●クラブ活動にのみ参加し講座を受講しない参加者も散見された。 ●各コミセンで行っていた高齢者講座を集約して文化センターで行っているため、地域性(近くで参加しやすい、講座を通じて交流する)が薄れつつある。</p>	A	継続																																																						

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																					
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	生涯を通じた学びと社会参加の推進	7. 高等教育機関、学校、地域、社会教育関係団体等との連携による学習・交流機会の充実	北里大学公開講座 スポーツ・生涯学習課	生涯学習の振興により多様化する学習ニーズに対応するため、大学の専門的分野の教育及び施設を地域社会に開放し、幅広い学習機会を提供する公開講座を開催する。	※別紙資料 P40	650,000	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題            ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止            &lt;令和4年度の成果と課題&gt;            ○3年ぶりにすべての講座を対面で行うことができ、従来からの受講者から歓迎を受けた。            ○多くの講座で高校生が受講しており、進路選択の一助になっていることがうかがえた。            ●満足度が95%を超える質の高い講座であるので、より多くの市民に受講してほしい。</p>	A	継続																																																					
		ふるさと出前きらめき講座	スポーツ・生涯学習課	市民の市政に対する理解を深め意識啓発を図り、市民と行政が協働で生涯学習によるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>実施回数</th> <th>延参加者数</th> <th>分野</th> <th>実施回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療</td> <td>7</td> <td>338</td> <td>施設見学</td> <td>18</td> <td>847</td> </tr> <tr> <td>医療保険</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>商工</td> <td>2</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>3</td> <td>200</td> <td>生涯</td> <td>4</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>観光</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>福祉</td> <td>3</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>8</td> <td>187</td> <td>防災</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>1</td> <td>33</td> <td>まちづくり</td> <td>4</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>市政</td> <td>8</td> <td>293</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td>84</td> <td>2,308</td> </tr> </tbody> </table>	分野	実施回数	延参加者数	分野	実施回数	延参加者数	医療	7	338	施設見学	18	847	医療保険	1	18	商工	2	188	環境	3	200	生涯	4	83	観光	2	23	福祉	3	154	教育	8	187	防災	1	10	健康	1	33	まちづくり	4	112	市政	8	293						計	84	2,308	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題            ●なし            &lt;令和4年度の成果と課題&gt;            ○小・中・高校の授業での活用のほか、町内会や高齢者施設等での活用もあり、幅広い世代や分野にわたり市の施策や制度を説明する機会となっている。            ●施設見学については、適正な人数や所要時間を知らせる必要がある。</p>	A	継続
		分野	実施回数	延参加者数	分野	実施回数	延参加者数																																																							
		医療	7	338	施設見学	18	847																																																							
医療保険	1	18	商工	2	188																																																									
環境	3	200	生涯	4	83																																																									
観光	2	23	福祉	3	154																																																									
教育	8	187	防災	1	10																																																									
健康	1	33	まちづくり	4	112																																																									
市政	8	293																																																												
		計	84	2,308																																																										
青少年育成十和田市民大会	スポーツ・生涯学習課	青少年の健全育成に資するため、また、良好な生活や社会環境を整えるとともに、体験活動の機会拡充に努めていくことを目的として開催する。	<p>「みんなで育てる 人との絆 輝く心」をスローガンに、家庭・学校・地域の連携のもとに青少年の健全育成を推進するため、青少年育成十和田市民会議との共催により市民大会を開催し、標語コンクールの表彰等を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・川柳コンクール</th> <th colspan="2">応募数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">あいさつ部門</td> <td>小学生</td> <td>781</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>426</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">読書部門</td> <td>小学生</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コソナに負けるな部門</td> <td>小学生</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>2,900</td> </tr> </tbody> </table>	種別・川柳コンクール	応募数		あいさつ部門	小学生	781	中学生	426	読書部門	小学生	130	中学生	155	コソナに負けるな部門	小学生	365	中学生	493	合計		2,900	57,512	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題            ●普段の青少年健全育成の活動を紹介する場面が少なかったため、機会をつくりたい。            &lt;令和4年度の成果と課題&gt;            ○関係者の参集のもと、青少年の健全育成に関する連携を確認する機会となった。            ○家読講演会・市民カレッジと共催し、普段の読み聞かせやあいさつ運動をスライドや模造紙で紹介したことにより、一般市民に対しても青少年育成活動を周知することができた。</p>	A	継続																																		
種別・川柳コンクール	応募数																																																													
あいさつ部門	小学生	781																																																												
	中学生	426																																																												
読書部門	小学生	130																																																												
	中学生	155																																																												
コソナに負けるな部門	小学生	365																																																												
	中学生	493																																																												
合計		2,900																																																												
二十歳のつどい(旧「成人式」)	スポーツ・生涯学習課	二十歳となった若者を市を挙げて祝い励ますとともに、次代を担う十和田市民としての誇りと責任を自覚する契機とする。	<p>コロナ対策として、式典(式辞、祝辞、二十歳の誓い)のみとし、アトラクションを取りやめて時間短縮を図ったほか、事前申込制を取り連絡先の提出や出身校ごとの分散受付をお願いした。            保護者等の来場を制限した代替措置としてオンライン配信を行った。</p>	749,829	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題            ●変化するコロナの状況や、成年年齢引下げに伴う成人式のあり方について、引き続き検討を重ねていく必要がある。            &lt;令和4年度の成果と課題&gt;            ○民法改正による成年年齢引き下げ後に行う初めての式典となった。「成人式」から「二十歳のつどい」に名称を変更して開催したが、混乱なく行うことができた。            ○コロナ対策が引き続き求められたが、参加者同士が感染対策を行い、安全・安心な式典を開催することができた。</p>	A	継続																																																							

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	生涯を通じた学びと社会参加の推進	8. 学習成果を生かした社会参加活動の支援	生涯学習出前講座	スポーツ・生涯学習課	市内で活躍している市民を講師として登録し、かつ、市民等の団体が主催する集会等に出向き、市民の一人ひとりの学習意欲を高めるとともに市民同士の交流を図り、生涯学習活動の振興を推進する。	1 市民講師登録者数 37名 2 出前講座実施状況 計18回、参加者数 延べ593名 3 主な利用団体 学校、PTA、町内会、保育園、病院、老人クラブ等 4 主な実施講座 体づくり講習会、パラスポーツポッチャ体験、バルーンアート、創造力と遊ぼう「遊ぶは生きる力」、民話講座、能楽への招待、理科工作講習会 等	0	<令和3年度の課題> ○：成果、●：課題 ●講座メニューのさらなる充実を図るため、講師の発掘が欠かせない。 <令和4年度の成果と課題> ○新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、前年度の4件に対し、18件を実施することができた。保育園・小学校から一般まで活用があった。 ○ポッチャ体験など新しい講座に対しても活用があった。 ●親子レクなどのPTA行事での活用もあったが、学校や学年により制度が知られていない場合もあるため、さらなる周知を図りたい。	A	継続
		児童生徒発明くふう展	スポーツ・生涯学習課	日常生活をより豊かに快適にするための児童生徒の研究活動や創意工夫、ユニークなアイデアを「発明くふう」、「子どもの科学の夢の絵」と言う形で広く求め、その作品を一般に公開することで、未来を担う十和田市の児童生徒の創造性発展に寄与する。	○作品募集期間 8月25日(木)～9月2日(金) ○審査会 9月5日(月) ○出品校及び出品数 【発明くふうの部】 出品校 小学校 8校、中学校 1校 出品数 小学校 65点、中学校 1点 【子どもの科学の夢の絵】 出品校 小学校 8校、中学校 2校 出品数 小学校 206点、中学校 2点	160,714	<令和3年度の課題> ○：成果、●：課題 ●コロナの影響で延期や施設の休館が重なり(9月→1月→3月)、参観者数は少なかった。 <令和4年度の成果と課題> ○中学校からの出品がない年もあるが、発明くふうの部、夢の絵の部とも出品があった。 ○国道沿いでのみまつりの開催がなかった(※例年、秋まつりに合わせて展示している)割には、多くの来場者を得ることができた。 ●1点の出品もない学校もあり、創意工夫にチャレンジする機会として活用を促したい。	A	継続	



基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	社会教育推進のための基盤整備	9. 社会教育推進体制の充実	十和田市教育懇談会	スポーツ・生涯学習課	教育行政関係者と市内小中学校長が一堂に会し、本市教育振興の実現に向けて当面する教育上の諸問題について認識や理解を深めるとともに、教育行政や学校運営に資するための方策等について意見交換をし、今後に反映させる。	【企画会議】 ①5月24日(火)、②8月30日(火)、③12月9日(金) 【事前アンケート】 6月6日(月)～20日(水) 【十和田市教育懇談会】 10月3日(月)14:20～16:20 テーマ「保護者や地域から寄せられる意見や要望への対応について」 講師 石田法律事務所 弁護士 竹本 真紀 氏(市顧問弁護士)	94,000	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●関心が高いテーマでニーズに合っていたので、時間がもう少しほしい内容であった ●学校側だけでなく行政側からも意見が出るようであればいい。 <令和4年度の成果と課題> ○令和3年度と同様のテーマで、事前に各機関が法的視点で質問したいことを事前アンケートで提出したうえで講演いただいたので、ニーズに即した内容だった。 ○市の顧問弁護士への相談方法や行政での事例も紹介することができた。 ●コロナ禍のため仕方がないが、グループ協議を求める声もあった。	A	継続
		社会教育委員の会議	スポーツ・生涯学習課	社会教育に関する諸課題の研究調査や生涯学習・社会教育の振興方策等についての提言を行うなど、十和田市における社会教育行政の総合的・効果的推進を図ることを目的とする。	1 令和4年7月19日(火)第1回社会教育委員の会議 <6名> ・令和4年度の内容確認、家庭教育応援事業の視察 2 令和4年11月8日(火)第2回社会教育委員の会議 <6名> ・寺子屋稲生塾について、コロナ禍での青少年の体験活動について 3 令和4年12月27日(火)第3回社会教育委員の会議 <6名> ・十和田市地域学校協働本部事業について 4 令和5年3月9日(木)第4回社会教育委員の会議 <7名> ・社会教育関係団体への補助金交付について、令和5年度の生涯学習事業について	185,682	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●意見の反映が翌年度事業からとなってしまうため、議論のタイミングを計る必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○事業の実態に即した具体的かつ実質的な議論を行うことができた。 ○オンラインで学校と繋ぎ、実施事業を会議の中で視察しながら議論することができた。 ●会議のテーマ設定について、社会教育委員の主体性を求める声があった。	A	継続	
		十和田市民図書館協議会	市民図書館	市民の情報拠点としての図書館づくりのため、利用者のニーズを図書館運営に反映させていく。	○協議案件 ①令和3年度図書館事業報告について ②令和4年度図書館事業中間報告について ③令和5年度図書館事業計画について	42,000	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2回目の会議を設定できなかった。 <令和4年度の成果と課題> ○幅広い分野の委員より貴重な意見をきくことができ、図書サービスの向上に役立っている。 ●協議会を年2回開催に戻し、委員からの意見を予算や事業運営に反映させ、多くの方に利用される図書館にしていける必要がある。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	社会教育推進のための基盤整備	10. 社会教育関係団体等の活動の支援	社会教育関係団体の認定・民間教育事業者の登録	スポーツ・生涯学習課	社会教育関係団体認定及び民間教育事業者登録をすることにより、市民の自主的かつ多様な学習活動を支援する。	<p>&lt;社会教育関係団体の認定&gt;  活動内容：社交ダンス、華道、空手、手芸、コーラス等  登録件数：172団体（令和5年3月31日現在）  ※うち令和4年度新規…5団体  ※認定されると、コミュニティセンターの使用料減免等の支援が受けられる。</p> <p>&lt;民間教育事業者の登録&gt;  講座内容：いけばな、ヨガ、ピアノ、社交ダンス、料理等  登録件数：34講座（令和5年3月31日現在）  ※登録されると、コミュニティセンターを利用して社会教育に関する講座を開設できる。</p>	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題  ●紙面の都合で広報とわだに掲載できず、団体や講座の詳細を一覧にした「学びのガイド」を作成した。ネットユーザーには好評だった一方で、高齢者等からは紙媒体の要望があった。  &lt;令和4年度の成果と課題&gt;  ○前年度の反省から、広報とわだに掲載して市民に紹介した。  ●広く周知できた一方で、掲載した情報を訂正・変更（団体の都合で活動時間を変更する等）することの困難さが伺えた。</p>	A	継続
		一本木沢ビオトープ協議会の活動支援	スポーツ・生涯学習課	一本木沢ビオトープの恵まれた自然環境の中で、野生生物の生態観察等を通し、子どもたちの情操教育を育む場を提供する。並びに保護活動の啓発・啓蒙を図るとともに、人と自然が共生できる環境の創出を図る活動を推進し、環境教育の振興に努める。	<p>一本木沢ビオトープ協議会の事務局を担い、事業運営のための事務を行う。</p> <p>◆総会・・・5月23日  ◆活用委員会・・・①6月16日 ②10月17日  ◆こどもゆめ基金助成活動による「一本木沢ビオトープ親自然体験」  ①ナイトハイクホテル観察会・・・コロナの影響により中止  ②水の中をのぞいてみたら・・・8月20日（子7名、大人5名参加）  ③トンボ博士になろう・・・9月17日（子14名、大人13名参加）</p>	0	<p>&lt;令和3年度の課題&gt; ○：成果、●：課題  ●一過性のイベントで終わらせず、環境教育としての視点をより反映していきたい。  &lt;令和4年度の成果と課題&gt;  ○コロナ禍で一部を中止せざるを得なかったが、申込者も多く、満足度や評価は高かった。  ○水位に関する議論は、関係機関の間で随時共有し調整して一定の水位を保つことができた。</p>	A	継続	

<評価委員の意見等>

- ・図書館の事業全般について、今図書館の運営が変わってきているという話もあるので、他図書館も参考にしながら引き続き頑張っていただきたい。
- ・図書館の環境について、今まで以上にいい環境を保持しながら運営していただきたい。